

## 2013年2月議会 決議案に対する討論

2013年2月19日

杉浦 智子

私は日本共産党大津市会議員団を代表いたしまして、ただいま提案のありました、決議案第1号 北朝鮮の核実験に対する非難決議に対する賛成討論を行います。

今般北朝鮮が核実験を強行したことについて断固糾弾し、強い抗議を表明するものです。

核実験強行は自制を強く求めてきた国連安保理事会と国際社会に挑戦をし、北東アジアと世界の平和を脅かす重大な行為であり、厳しく非難されなければなりません。

同時に、北朝鮮の核問題は、平和的、外交的に解決するため、対話により国際社会が一致して対応することが何よりも重要であると考えます。これまで北朝鮮は核兵器の放棄という合意を繰り返し裏切ってきました。それだけに制裁のための制裁ではなく、北朝鮮を対話のテーブルに着かせ、核兵器を放棄させるために、中国を含む国際社会が一致して制裁を実効あるものにしていくことです。そして、私たちは核兵器を捨てる、だからあなたも捨てなさいというように国際社会が核兵器のない世界を本気で目指すことを提起すべきです。

このことこそが最も有効な手だてであり、北朝鮮が回避したいものです。私たちは抑止力と日米軍事同盟ではなく、平和的解決に向けて、日本政府が被爆国にふさわしい役割を果たすことを求めるとともに、いたずらに軍事的な対応にエスカレートさせるようなことは許されないことであると考えるものであり、この立場を表明して、本決議案に賛成をするものです。